

菅実花は、等身大の女性型愛玩人形を妊婦の姿で撮影した作品《ラブドールは胎児の夢を見るか?》を発表して注目を集めた美術家です。今回の個展では、19世紀の西洋で流行した、故人の姿を湿板写真で記録する「死後記念写真 (Post-mortem Photography)」の手法を用いながら、等身大の精巧な乳児人形「リポンドール」を撮影した《Pre-alive Photography》を中心に発表します。

写真黎明期の日本では「写真に写ると魂が取られる」と信じる人もいましたが、西洋では故人を生きているかのように演出し、記念撮影をしていました。とりわけ、死亡率の高い乳幼児を撮影した事例が多く見られました。一方、近年は、子どもを亡くした母親や不妊治療に苦しんだ女性たちによって子どもの代わりに購入される人形「リポンドール」が人気を呼んでいます。《Pre-alive Photography》は、様々な背景を持つ女性たちの思いが託される「リポンドール」を、「死後記念写真」になぞらえて、当時と同じ湿板写真の手法で撮影することで、人形に生命を見出そうとする試みです。

丸木位里、丸木俊による共同制作《原爆の図》を常設展示している原爆の図丸木美術館は、極限状態・悲劇的状况に直面した人間の姿を克明に描いた絵画を通して、生と死を見つめる空間です。近年は、若手作家による企画展を開催し、丸木夫妻の意思を次世代へ受け継ぎ、新たな価値を創造することを試んでいます。

その趣旨を踏まえた本展は、菅にとって初めての美術館での新作個展であり、美術における生と死の表象の系譜を現代へ継承する企画になるでしょう。死は、常に個々の人間に訪れるものです。戦争などの大きな文脈として語られがちな死の物語を、個々の集積として捉え直す機会として、本展をご覧いただければ幸いです。

助成：公益財団法人朝日新聞文化財団  
協賛：天使のリポンドール、ライトアンドプレイス湿板写真館

### 菅実花 (かん みか)

美術作家。1988年神奈川県生まれ。2013年東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。2016年同大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。現在同大学院修士後期課程に在学。2014年より、ヒューマノイドロボット開発にも応用されている等身大愛玩人形の妊娠を描くことで人間と非人間の境界を問いかけるアートプロジェクト「Do Lovedolls Dream of Babies?」を手がける。主な展覧会に個展「The Future Mother」(慶應義塾大学、2016年)、個展「The Silent Woman」(文京区立森鷗外記念館、2018年)、アートフェスティバル「黄金町パザール2017 Double Façade 他者と出会うための複数の方法」(2017年)。著書に『〈妊婦〉アート論 孕む身体を奪取る』(共著、青弓社、2018年)がある。

### 関連イベント

#### オープニングトーク

日時：6月1日(土)午後2時開始 参加自由(入館料別途)  
出演：菅実花(美術作家)、岡村幸宣(丸木美術館学芸員)

#### 港千尋 × 菅実花 トークイベント

日時：6月15日(土)午後2時開始 参加自由(入館料別途)  
出演：港千尋(写真家・著述家)、菅実花(美術作家)

#### 湿板写真撮影ワークショップ

日時：6月29日(土)午後2時開始  
予約：要予約(受付は6月26日午後5時まで)  
講師：和田高広(ライトアンドプレイス湿板写真館)  
参加費：一人5000円  
対象：小学生以上

人数：先着7組(1組あたり最大4人まで)  
内容：《Pre-alive Photography》制作に使用した写真技法「湿板写真」でポートレートを撮影します。数秒間静止して撮影する体験をはじめとして、ガラスに溶剤を塗布する工程や現像で像が浮かび上がる過程をご覧いただけます。希望する方は実際にカメラを触って撮影することも可能です。撮影した一点ものの写真は後日お持ち帰りいただけます。



《Pre-alive Photography》制作風景 湿板写真撮影

このチラシをお持ちの方は、丸木美術館入館料が100円割引となります。

## 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

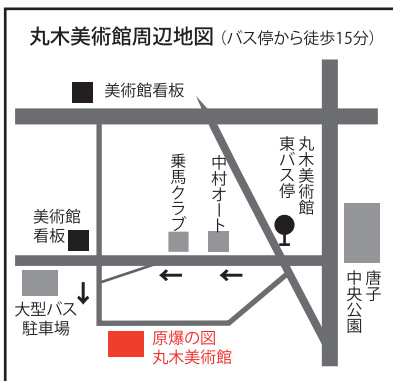
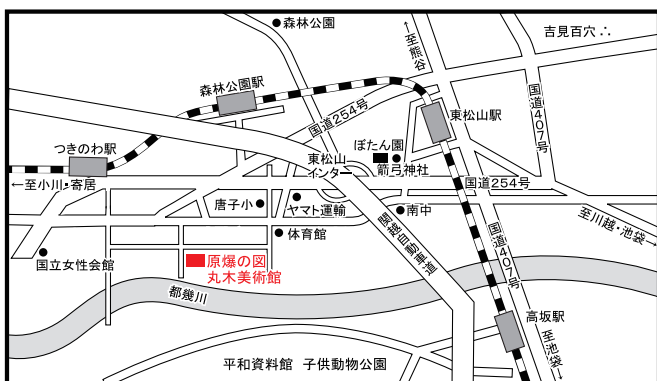
5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌  
【常設展】「原爆の図」連作  
「水俣の図」  
「南京大虐殺の図」  
「アウシュビッツの図」  
「水俣・原発・三里塚」  
絵本原画、丸木スマ水彩画等

【開館時間】午前9時～午後5時  
【休館日】月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)  
【入館料】大人900円 中高生または18歳未満600円  
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、  
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引  
障碍(しょうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401  
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

【URL】<http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>  
【Eメール】[marukimsn@aya.or.jp](mailto:marukimsn@aya.or.jp)

【交通】●東武東上線森林公園駅  
南口よりタクシー10分、徒歩50分  
●東武東上線東松山駅東口より  
市内循環バス唐子コース(日祝運休)  
「丸木美術館東」下車  
●開越自動車道  
東松山インターより小川方面10分  
●東武東上線つきの駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



市内循環バス時刻表(日祝運休)			
【行き】			【帰り】
東松山駅東口発	丸木美術館東発		
8:55	10:00	10:32	11:37
11:05	13:30	14:02	15:02
14:30	15:55	16:27	17:32

※時刻表は変更になる場合があります。(2017年10月現在)

菅実花 個展 人形の中の幽霊

Mika KAN Solo Exhibition

# The Ghost in the Doll



2019年6月1日(土)~7月15日(祝)

原爆の図 丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子 1401 tel 0493-22-3266